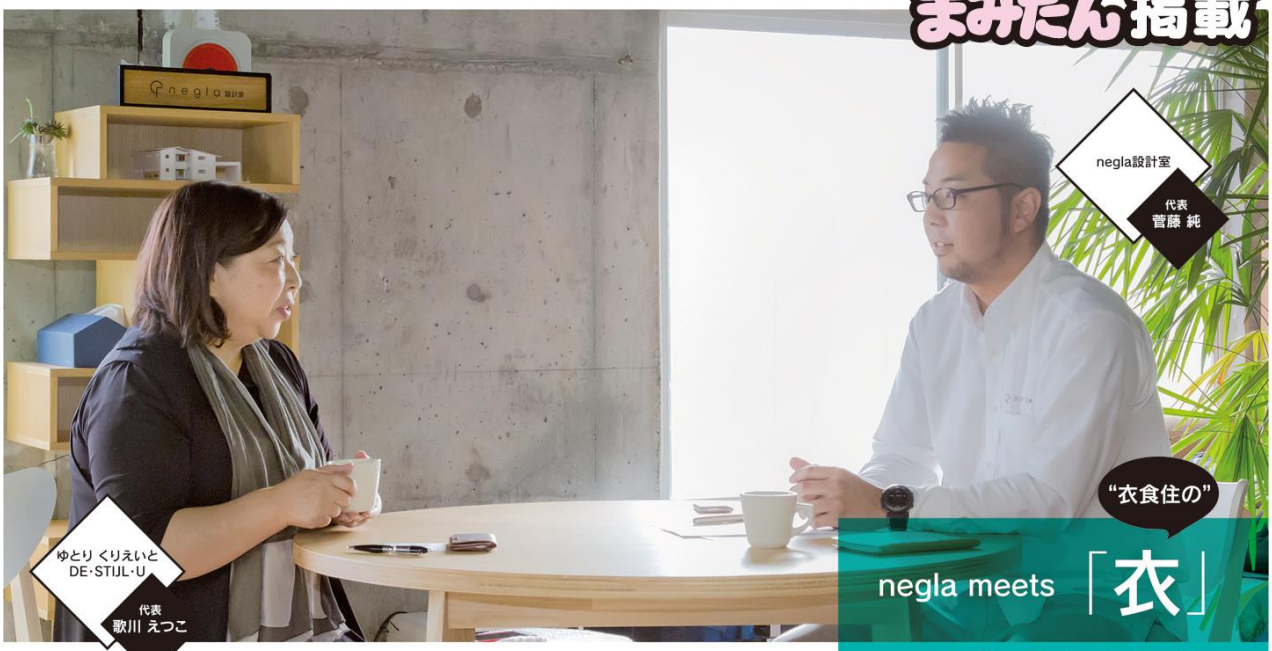
まみたん掲載



“衣食住の”

negla meets 「衣」

収納のプロとnegla代表が「しまうこと」について話し合いました。

negla(ねぐら)が考える、「しまうこと」。

使う場所に使うものを使う分だけ

菅藤（以下K）家に収納は欠かせない！…ですが、求める収納は皆違っていて。落としどころが難しいです。

歌川（以下U）収納って「しまうところ」であって「隠すところ」ではない。そこに気付いてほしいですね。

K上手にしまえれば、物があってもキレイに見えますし、物の定位置が決まっていれば家族皆に住み心地のいい家になるのでは、と思います。

U仰る通り、物の定位置って大切なんです。特に皆が使う日用品は分かりやすい場所にまとめておき、余分な量は置いておかないのがベスト。“使う場所に使うものを使う分だけ”が望ましいですね。

そうなると衣替えはしない、ということでしょうか？

U服をハンガーに掛けて収納するのって一見使い勝手が良さそうに思えますが、衣替えの機会を無くすのももったいない！衣替えはいらない服を見極め外すチャンス。服は増えていくものなので、減らしていかないと。衣替えで季節に合った服を使いやすい位置に持ってくる。それだけでクローゼットに対する苦手意識が変えられると思います。

片付けを楽しめるものに

U収納スペースが少ない…という悩みは沢山いただきますが、スペースがないのではなく、物が多いんですね。なので一旦その収納スペースに入っているものは必要？と考えてみるといいと思います。

K大事なものを見極める、大切な作業ですね。

Uお子さんがいるのであれば「子どもも出来る」収納を考えてみるといいですね。例えば背丈に合わせたポールを作り、服をハンガーに掛けて収納することを教えてあげる。出来たら5割増しで褒めてあげるのがポイントです。

K5割増し(笑)僕は親子で収納を楽しめれば、と思います。大人が収納を楽しめれば、子どもも楽しいと思えるようになる。片付けは面倒なものではなく楽しいもの、と家族皆が思える家づくりを目指していきたいですね。

U片付けを楽しく。それだけで住む人が楽しめる家になりそうです！

衣替えは収納を見直すチャンス

K生活動線から収納を考えると、お風呂場に隣接している脱衣室って考え方次第ですごく使い勝手の良いスペースになると思うんですよね。

U私も脱衣室、着目していました！

K着替えが出来るスペースを作れば、衣類のある別の部屋へ移動する手間も減り便利さが向上する可能性もありますね。あとは意外とウォークインクローゼットの使い方って難しいな、と思います。

Uそうなんですよね。服は全てハンガーに掛けてクローゼットにしまっている、という方もいらっしゃいました。

Kそれはすごい！

negla(ねぐら)の「しまい方」

畳の下を床下収納スペースに

カーテンで仕切られた収納スペース

予約不要 8月中旬 仙台市泉区西田中 cafe in vitro

自然素材と国産無垢材でつくるカフェ 完成見学会開催

詳しくは…

次回のまみたんは 家族と環境に配慮した 暮らしを考える

テーマは…衣食住の 住

negla(ねぐら) 設計室

仙台市泉区市名坂字石止82-1-1F TEL：022-725-6082
Mail：info@negla.jp http://www.negla.jp/

negla設計室 search